



# ゆくて遥かに

平成 31 年 4 月 1 日 (月)

第 5 2 号

長野県松本深志高等学校長

## 入学予定者オリエンテーション (3月26日)

このオリエンテーションは4月から始まる高校生活を円滑に進めるためのガイダンスという位置づけで、322名の入学予定者の皆さんに26日に集まってもらいました。まずは9時に割り当てられた教室に集合して書類を提出。その後講堂に移動して全体会。学校生活について簡単な説明を受け、芸術と地歴の科目選択、教科書購入に係る説明と続いて、教室に戻り昼食。午後再び講堂で全大会が行われ、生徒会から



の説明があった後、  
応援団管理委員に

よる校舎案内、教科書購入、体育館シューズ受け取り、終了次第解散、という流れで進みました。講堂では深志高校応援歌のCDも販売されていたようです。入学式が終わるとすぐに歌の練習が始まりますが、その様子は噂で流れているでしょうから一定の需要はあると推察されます。この日は入学式当日に提出する各種重要書類と一緒に歌集も全員に配られていまし



た。手に取ってパラ

パラとめくってみました。その厚さは昔と変わらないような気がします。歌集片手に毎朝必死に覚えながら登校した入学直後の一週間、懐かしい思い出です。入学予定の皆さんは、高校生としての新しい生活に対して、夢と希望に胸を膨らませていることでしょうし、未知の世界への不安も抱いていることでしょう。どうか健康には充分に気をつけて、4月3日の入学式には元気な姿で、心をまっさらにして心機一転、新しいスタートを切ってほしいと思います。



## 春の高校伊那駅伝女子県内3位！(3月24日)

全国から強豪校が集まることで有名な「春の高校伊那駅伝」が24日に行われました。男子113チーム、女子64チームの参加があり、本校からも男女1チームずつエントリーし、ハイレベルな戦いに挑みました。女子は昨年の11月の駅伝県大会で5位に入賞を果たしましたが、今大会でも大いに健闘、見事県内の部で3位に入賞しました。タイム的にも2位の長野日大とは53秒差、区間賞が取れそうなどところもあったとのこと。ちなみに全体順位は34位、県外から53チームが参加している中での順位ですからこれも立派です。今後の活躍を期待しています。



## 「未来の学校」構築事業研究校に決定（3月28日）

28日に行われた県教育委員会定例会において、「未来の学校」構築事業研究校に本校が指定されました。この研究校の趣旨は、県教委の資料によれば「長野県高校教育をけん引する新たな学びの場、学びの仕組みを構築するために研究校を指定し、有識者であるアドバイザーの指導・助言・協働を得ながら研究開発計画を作成する」とあります。種別は「その他の研究校」で、「現在の教育課題の解決を目的として、既存の考え方にとらわれない発想で、学校や地域の特長・魅力を活かし、多様で柔軟な学びの仕組みを創造する」ともあります。学びへのモチベーションを高める工夫と自治の校風の継承という二本柱で申請しましたので、県が用意した種別の枠組みには収まらない、という判断をされたのでしょうか。自治の精神と学力向上・進路実現の二兎を追いかける中で、深志らしく、生徒の学びへのモチベーションをどのように高めていくか、広範な議論と更なる実践を進めたいと思います。



## 「木のいのち木のこころ」終業式講話（3月22日）

終業式で、宮大工の西岡常一さんからの聞き書きを本にした名著「木のいのち木のこころ」を紹介しました。西岡棟梁は本の中で「木は切った後も生育の性質が残り、例えば、太陽にあまり当たってない北側で育った木を建物の南側に使うと、ねじれたり反ったりしてしまうが、日当りの悪い場所に使うと、何百年も我慢するよい木になる。木が育った環境を考えて、それによってできた木の性質を考慮に入れて、山の北側で育った木は建物の北



梅は咲いたか、桜はまだかいな……今年の桜はまだつぼみですね

に、山の南側で育った木は建物の南に使い分けることで、千年も持つ木造建物は初めて作られる」と語っています。なんだかとても示唆的な話です。

### その他の話題を

★ 31日に松本市民芸術館で志音会の第15回演奏会が開催されました。私はどうしてもはずせない所用があり、鑑賞することができずにとっても残念でした。素晴らしく感動的な演奏会に会場は大盛況だったとお聞きしました。



## 今週の予定（始業式、入学式、整理テスト）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
1	月		辞令交付
2	火	職員会 新任式 始業式	
3	水	入学式	
4	木	整理テスト 対面式	
5	金	整理テスト 歌の練習	
6	土	土曜授業	校長会用務
7	日		
8	月	(A1) 心電図(1年) 歌の練習	